

令和6年度 第1回 浜松市立高等学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和6年5月16日（木） 15時45分から16時45分まで
- 2 開催場所 浜松市立高等学校 大会議室
- 3 出席委員 須賀淳子委員、杉浦友治委員、金田知久委員
林左和子委員、増田治晃委員、富室俊和委員
- 4 学 校 草谷（校長）、河田（副校長）、河島（事務長）
飯田（教務課長）、蔵原（生徒課長）、水野（進路課長）
- 5 教育委員会 小野田（教育総務課）
- 6 傍聴者 なし
- 7 会長選出
全委員の賛同を得て、会長には同窓会会長の須賀委員が、副会長には令和5年度PTA会長の増田委員が承認された。
- 8 議長を選出
原則、会長が議長を行うこととし、全員異議なくこれを承認した。
- 9 協議事項
(1) 学校運営基本方針について
- 10 会議記録
(1) 任命書交付
草谷校長より任命書を委員に交付
(2) 校長挨拶
学校運営協議会制度は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づいて設置されている。学校運営協議会委員に学校運営に参画いただき協力を賜りたい。学校運営の基本方針を承認していただき、人材の要求等職員の任用にも携わっていただく。学校運営協議会をとおして力添えを賜り、共により良い学校を構築したい。
(3) 出席者自己紹介
須賀委員（同窓会長）、杉浦委員（前広沢自治会長）、金田委員（浜松市教育会館館長、元浜松市校長会会長）、林委員（静岡文化芸術大学教授）、増田委員（令和5年度PTA会長）、富室委員（令和6年度PTA会長）
(4) 学校運営基本方針について（拍手により承認）
草谷校長より、「学校経営計画書」及び「グランドデザイン」の説明があった。スクールミッションについては地域の中での本校の役割を述べ、スクールポリシー アドミッションポリシーについてはその具現化の柱について説明があった。
(P2) 具体的内容 主体的対話的で深い学び、授業を通して生徒の成長を図る
(P3) 教員の指導力向上 授業に重きを置いて教育活動を推進する
(P4) 学校の組織力向上 ICTの活用、業務改善について

委員からは以下の発言があった。

- ・学校経営計画のアからカまでの具現化の柱は、生徒も承知しているのかどうか？（杉浦委員）
- ・学校として先生方が推進し、生徒もこのような計画の中で成長していることを意識してもらいながら、双方向で捉えていく。（草谷校長）
- ・大学でも生成AIについて考える必要がある。ICT機器を利用し、学生本人が気づかない真偽が怪しい事態もあり、かなり悩ましい問題である。情報を吟味する力が必要となるが、リテラシー教育はどのように考えるか。
- ・情報教育についての講演、情報収集を行い、生徒が何を選択して何を身に付けるか学校でも進めていかなければならない。実践的なものをおして、教職員と生徒が一体となって教育を進めていく。高校と大学との接続も大切であり、大学の情報をいただけると有り難い。（草谷校長）

(5) 学校近況報告（資料をもとに各課長、副校長から説明）

（P12）教務課

R6は全国的に新教育課程3年目で完成年度である。時間をかけて各教科で検討をしてきた。難関国公立大学や難関私立大学、医学・スポーツ・芸術系等様々な目標を持つ生徒に合ったカリキュラムを作成した。観点別評価では、基礎基本をもとに思考力、表現力を身に付けさせる。タブレットパソコンを生徒全員が所持している。活用方法を現在模索している。今後どのように1人1台端末を活用していくかが大きな変容の時期となっている。

（P14～15）生徒課

昨年度女子のトラックを導入した。校則の見直し転換期であり、変えるもの、伝統を守るもの、生徒に寄り添いながら見極めていく。令和5年度は全国大会出場生徒が延べ332人に上った。満足度の高い部活動指導を目指す。

（P16～17）進路課

入学当初からの生徒の進路希望が実現する指導を目指す。年間計画では名古屋大学見学会が大学側の受け入れ方針変更により未確定となっている。その他については記載の通り実施予定である。進路実績について、令和5年度末は国公立大学合格179名となり一昨年度より減少しているが、1クラス減のため割合としては変わっていない。生徒の努力の結果である。大学入学共通テスト後は学校全体で個別指導等を実施している。今年度も全職員で対応する。

（ブログより）副校長

生徒の主な活躍は、陸上競技部クロスカンントリーリレー世界第7位、吹奏楽部全国アンサンブルコンテスト出場（東海1位、全国銀賞）、定期演奏会、ソフトボール部キャプテンが全国大会で選手宣誓、女子テニス部全国でベスト32、弓道部中日本大会での活躍、放送部浜松市福祉協議

会主催の催しで盲導犬の啓発活動、高文祭全国大会出場、マンドリン部定期演奏会、7月に大阪での全国大会出場決定、なぎなた部県高校総体団体1位などを紹介した。

(6) 浜松市学校運営協議会規則（昨年度からの違いを説明）

(7) 意見交換

- ・ブログ掲載の澤田さんはアメリカの大学へ進学する。グローバルな視野を持つ生徒が育っている。（林委員）
- ・19日（日）14時50分から国立競技場で開催されるセイコーグランプリ陸上がTBS放送で放映され、澤田さんが1,500mに出場する。（副校長）
- ・生成AIについて、ハーバード大学ではコンピュータ科学の授業にAI講師を採用し、コニカミノルタでは人工知能を活用したAIエンジニアが採用されるという。AIはアイデアは出せるが物は作れない。実践をして生徒と考えていく必要がある。情報に振り回されて不調を起こす危険性もあるので、学校としては新しいことはやらなくてはいけないが今まで以上に生徒のケアを計画的に実施する必要があると思われる。Windows95から30年急速な変化の途中、現在の高校生が大学卒業する頃はどのようなのか。全てデジタル化の流れの中にあり、教科書は何十回も更新する時代である。（金田委員）
- ・先生方が大変な中指導してくださっている。評価B⇒Aがたくさんあり素晴らしい。（須賀議長）

11 その他

次回学校運営協議会は10月23日（水）に5限授業参観、第3回は2月17日（月）の予定である。